

連続セミナー
だから“日中韓”一絆の再発見
第2回「競い、高め合うライバル」

2015年1月16日（金）18:00～20:00

国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール

◆ 第1部 私が経験し、感じた日中韓（18:00～19:10）

スピーカー紹介	潮 智史	朝日新聞 編集委員（スポーツ担当）
スピーチ	岡田 武史	元サッカー日本代表監督、 前中国スーパーリーグ杭州绿城監督
	池田 誠剛	元サッカー韓国代表フィジカルコーチ
	ユ <small>サンチョル</small> 柳 想 鐵	元サッカー韓国代表選手・Jリーガー

◆ 第2部 サッカーで日中韓の未来を語る（19:10～20:00）

モデレーター	石川 好	作家、元新日中友好 21世紀委員会委員
パネル	岡田 武史	元サッカー日本代表監督、 前中国スーパーリーグ杭州绿城監督
	池田 誠剛	元サッカー韓国代表フィジカルコーチ
	ユ <small>サンチョル</small> 柳 想 鐵	元サッカー韓国代表選手・Jリーガー
	潮 智史	朝日新聞 編集委員（スポーツ担当）
	若宮 啓文	日本国際交流センター シニア・フェロー

閉会挨拶 大河原 昭夫 日本国際交流センター 理事長

スピーカー略歴

岡田 武史

1956年大阪府生まれ。早稲田大学卒業後、当時の古河電気工業サッカー部（現ジェフユナイテッド市原・千葉）に入団。頭脳派のディフェンダーとして日本リーグで活躍し、日本代表としてオリンピック予選、ワールドカップ予選など数々の代表選に出場。現役引退後は指導者として、二度のワールドカップを指揮し、2010年南ア大会ではチームを史上初のベスト16に導いた。2012年から2013年11月まで、中国スーパーリーグ所属杭州绿城足球倶楽部の監督を務めた。2014年11月、四国リーグ所属FC今治へのオーナー就任を発表。現在はサッカー界以外にも活躍の場を広げている。

池田 誠剛

1960年埼玉県生まれ。早稲田大学卒業後、古河電工サッカー部入団。1991年、東日本JR古河サッカークラブのアシスタントコーチに就任。その後、ジェフユナイテッド市原のコーチを経て、1994年のワールドカップブラジル代表に同行。1995年にはACミランで研修を受け、翌96年以降横浜マリノス、Kリーグ釜山IPark、浦和レッズでフィジカルコーチを務める。2011年、韓国オリンピック代表のフィジカルコーチに就任し、銅メダル獲得に貢献。2013年に中国・杭州绿城、2014年には韓国代表のフィジカルコーチを務めた。

ユ・サンチョル（柳 想鐵）

1971年韓国生まれ。建国大学校卒業後、Kリーグ蔚山現代FCに入団。Jリーグでは、横浜F・マリノス（1999～2000年、2003～2004年）、柏レイソル（2001～2002年）で活躍した。1998年、2002年のワールドカップに出場し、両大会でゴールを決めている。また、2003年の東アジア選手権では大会MVPを獲得した。従来のポジションであるMFに加え、FWやDFもこなすユーティリティープレイヤーとして知られる。2006年の現役引退後、2011年から2012年までKリーグ大田シチズンの監督を務めた。